

全国学力・学習状況調査について ～結果報告と今後の取組について～

なぜ全国学力・学習状況調査(全学調)を実施するのか

全学調では、全国的に生徒の学力や学習状況を調査・分析し、その結果をもとに教育の成果と課題を確認しています。そして、これらの情報を活用して、教育の質を向上させるための改善を行っています。

本校ではこのデータを使って、生徒への指導方法をより良くし、学習環境を整えるために役立っています。

このような取り組みを通じて、教育の質を継続的に見直し、改善していくサイクルを確立することを目指しています。

熊本県における調査の結果(教科の結果概要)

- ・小学校では、国語は全国平均とほぼ同じ状況であり、算数は全国平均を下回っている。
 - ・中学校では、**国語と数学は全国平均を下回っている。**
- また、今回数学においてやや改善が見られたが、全国平均を下回る状況が続いている。

※参考

- ・教科に関する調査(小学校:国語・算数、中学校:国語・数学)
 - ・質問調査(児童生徒に対する調査、学校に対する調査)
- 今年度は令和6年4月18日に実施されました。(生徒質問紙調査は4月17日)



『主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する生徒の育成』
『「凡事徹底」そして「自己」への挑戦・「他」への貢献』

西合志南中学校
学校通信
令和6年10月1日
第6号
発行責任者
大山 寛
井上 竹久

本校における調査の結果(教科及び生徒質問紙調査の概要)

【国語】

- 全体の結果は県平均・全国平均と比べ、ともに上回っている。
- 観点別の結果は「思考力・表現力・判断力」における「話すこと・聞くこと」に関する問いについては、県平均及び全国平均を上回っている。

【数学】

- 全体の結果は全国平均をやや下回るが、県平均とほぼ同程度である。
- 学習指導要領の領域における結果は、「数と式」に関する問いについて全国平均を下回るが、県平均とほぼ同程度である。
- 観点別の結果は「思考力・表現力・判断力」に関する問いについて全国平均を下回るが、県平均とほぼ同程度である。

【質問紙調査】

◎県平均・全国平均を上回っていた主な項目

- 朝食を食べること。
- 決まった時間に起きて、決まった時間に寝ること。
- 将来の夢や目標を持っていること。
- 人の役に立つ人間になりたいと思うこと。
- (英語の授業において)まとまった内容を英語で表現しようとする。

◎県平均・全国平均を下回っていた主な項目

- 自分と違う意見について考えること。
- 人が困っているときは、進んで助けようと行動に移すこと。
- 学習内容を見直し、次の学習につなげるようすること。
- (全般的な)お互いに話し合い、意見を交換しようとする項目。

今回の調査の結果、西合志南中の傾向は、熊本県の傾向とほぼ同じ形で表れています。それらを踏まえ、本校では下記のように課題改善に向けて対応してきたいと思えます。

課題の改善に向けて

まずは

確実な基礎・基本の確実な定着が図れる授業を行っていきます。

そのために

学校での学習に集中し、効果的に学ぶためのルールや習慣(学習規律)を徹底していきます。

特に、西南中では**聴く態度の育成**に力を入れていきます ※詳細は今後の通信で紹介していきます。

※各教科の学習の中では

- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざします。
→授業の中で基礎的・基本的事項の定着を確認する場面を設けます。
- 教科書等を用いた予習(家庭学習)の徹底を行っていきます。
引き続き、生徒の学力向上に向けて頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。

※熊本県の詳しい結果については、県のホームページに記載してあります→



学校HPIにはQRコードをクリックでアクセス!

